

発行 上田高等学校同窓会 中南信支部事務局
題字 (故)松岡翠風(仁太郎)氏 (39期)
安曇野市に居住し、全日展書法会副会長などを歴任された

ご挨拶 支部長 小池健一 (67期)



ずしも長野県が安泰ではないことを暗示しているように感じました。

今年の出来事をひと言で表現するならば、絶え間ない災害の襲来あるいは自然の脅威の増大でしょうか。一月下旬、白根山のロープウェイ山頂駅の南側で前兆のない突然の噴火が起きました。二〇一四年の御嶽山の噴火からも、長野県境にはいつ噴火するか分からない火山がひしめいていることを実感しました。大型の台風がいくつも日本を通過し、大きな被害をもたらしたことも記憶に残るものでした。台風二十一号により関西国際空港が使用できなくなることは想定を越えていました。そして、松本市美須々の護国神社の鳥居が強風により倒壊した写真を見た時は、必

戦国大名による人材登用・育成の番組を見て、最も印象に残ったのは武田信玄でした。家中に岩間大蔵左衛門といふ他の家臣が困り果てるほどの臆病者がいました。信玄は岩間に『武田家の悪事全てを監察し報告せよ』と命じました。岩間はもともとが臆病な性格であることから、些細な事でもとても敏感に反応しました。怪しい事を逐一報告していく中で、いつの間にか家中一の目付となつたようです。戦国時代は勇猛な家臣を一人でも多く抱えようとするのに、洪柿は洪柿として使え、洪柿は干せば干し柿として甘くなる、つまり自国の弱みや嫌な部下も使い方によっては良くも悪くもなるという示唆に富む考えと思えました。

幅広い卒業年度の同窓生が集まり、情報交換や思い出を語る同窓会という場は非常に貴重です。中南信支部は会報発行に加え、総会、新年会、そして毎月第二木曜日に開かれる月例会兼幹事会等、これだけ盛んに活動している支部はまず無いと思います。総会の懇親会では、学年毎に会員一人ひとりが近況を話すのは、皆で会を盛り上げることになり、とても良いことだと思えます。

今年には南長野医療センター篠ノ井総合病院の外科医である池野龍雄診療部長に、本学一年生対象の講義を依頼しました。これからも社会講座講師が受持つ授業は、母校の在学が進路を選択・決定していく上で貴重であり、引き続き母校の要望に応えていきたいと思えます。

パワフルな中南信支部に育ててこられた先輩諸氏に敬意を表し、さらに発展するよう、若い世代にも積極的な係わりを呼びかけていきたいと思います。

～第25回支部総会のご案内～

- 日時: 11月3日(土) 14:30 開場
- 会費: ¥7,000 (学生の方は¥3,000)
- 15:00～15:45 第一部: 総会
- 16:00～16:45 第二部: 記念講演
- 17:00～18:45 第三部: 懇親会
- 第一部のみ参加される方で、'18年度支部年会費1,000円を納入された方は無料です。返信葉書で出欠をお知らせください。
- 会場: ホテル モンターニュ松本 (駅から徒歩1分) 電話 0263-35-6480 松本市巾上 3-2

記念講演 信濃毎日新聞社論説主幹

丸山貢一(まるやま・こういち)氏 (72期) 演題「コラム『斜面』の舞台裏」



丸山貢一氏 (72期)

信濃毎日新聞一面のコラム「斜面」を担当してこの秋で6年になりました。日々のニュースを、ちょっと斜めから見、どう切り取って読者にお伝えするか、いまだに悪戦苦闘しています。その舞台裏を紹介しつつ、言論と表現の自由をめぐる歴史や今の状況にも触れながら、新聞の役割について考えていることをお話したいと思います。

略歴

1955年上田市生まれ。79年、早稲田大学第一文学部を卒業。信濃毎日新聞社入社。長野本社編集局報道部、大町支局、軽井沢支局などで記者活動。1999年連載企画「介護のあした」のデスクを務め、日本新聞協会賞受賞。長野本社編集局報道部長、同編集局次長兼文化部長、同松本本社報道部長を経て、2012年10月から論説委員、2014年4月から論説主幹。

真道茂氏を悼む

《武村洋治 58期・長坂文夫 76期》

集まらない!

奔放。豪放磊落な性格。それが真道さんが東京芸大を造りて作品には緻密な構造が織り込まれて、見るものはとさせざる。画家・彫刻家として知られる本学先輩の真道茂氏(54期)が今年7月26日に亡くなられた。私は一度だけ上諏訪のご自宅・アトリエを訪ねて頂いた。

真道さんが東京芸大を造りて作品には緻密な構造が織り込まれて、見るものはとさせざる。画家・彫刻家として知られる本学先輩の真道茂氏(54期)が今年7月26日に亡くなられた。私は一度だけ上諏訪のご自宅・アトリエを訪ねて頂いた。

諏訪在住の真道先輩は私の担当 頼むと 出してもイヤ! だけど俺運転しないから諏訪まで取りに来てくれ! す、諏訪までですか? そうだよ! 判りました。三日後真道さんから電話がありました。やあ! 女は怖いね! 二人姉妹によ



真道茂氏(54期)代表作の一つ「モニュメントと空間デザイン」 帝国ホテルタワー(東京日比谷)にて

真道さんから電話がありました。三日後真道さんから電話がありました。やあ! 女は怖いね! 二人姉妹によ

松本市に信毎メディアガーデン

《井上裕子 79期》

国宝松本市にも近く、伊勢町通りと本町通りがぶつかった角に「信毎メディアガーデン」(信濃毎日新聞松本本社)が4月にオープンしました。そこで働いている私がビルの紹介をさせていただきます。



「インスタ映え!」メディアガーデン3階テラスからのながめ

真道茂先輩の冥福を祈ります。私と同じ上田一中(上田高校)が58期真道先輩は54期 重ならないはずだが作品が

武村洋治(58期)

真道茂先輩の冥福を祈ります。私と同じ上田一中(上田高校)が58期真道先輩は54期 重ならないはずだが作品が



レストラン鯛萬 ほやほや夫婦の記念写真 画:武村洋治(58期)

の新名所になりつつあります(多分)。

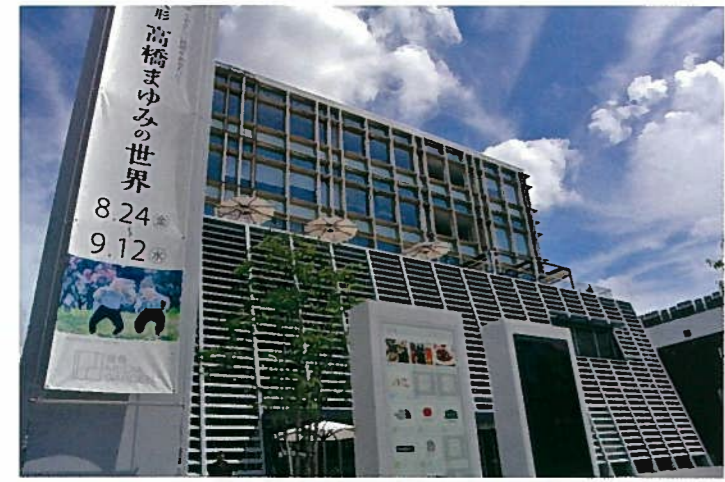
ビルの設計は、下諏訪町出身で世界的建築家の伊東豊雄さんにお願ひしました。地上5階地下1階のべ8143平方メートル。4・5階が松本本社の報道部と営業部門、松本平タウン情報と週刊まつもとを統合した信毎折り込みのタブロイド新聞「MGプレス」などのオフィスになります。

1〜3階は、どなたでも利用できるところ。2階には果物を使った信州ならではの「お土産店」や「アウトドアウェアのショップ」、丸山珈琲のカフェ。3階には飲食店や外国語学校が入っています。1階にはカフェスタンド、おしゃれな雑貨店...。ここで

先輩方が参加しているハンドベルのコンサート、落語や音楽のコンサート、講演会などでにぎわっています。費用は公民館よりもちよつと高く、

このビルにおでかけの際に、見ていただきたいのは、これまたおしゃれなサイン(*1)です。1階にある授乳室のサインやエレベーターにあるフロアの表示、ビルの外にある社名の看板など、デザインに興味がある方ならば必見。これも東京のデザイナーさんにお願ひして統一したものを付けました。

私は信毎折り込みの「MGプレス」で働いております。火曜日から土曜日まで、毎週5回、地域のニュースをお届けしております。身近なニュース、知っている人、がたくさん載った新聞です。ご意見、ご要望などあれば、お寄せください。



松本中心街の新たな名所になるかメディアガーデン

さらに、1階のホール、3階のスタジオやキッチンでは、さまざまな催しが開かれております。



「ハンドベルコンサート」で既に訪れた方も(1階ホール)

信毎長野本社(*1)「サイン」とは案内標識

(注・メディアガーデンの写真は、いずれも井上裕子79期)

きます。ぜひ見に来ていただきたいのは、3階のテラスからの眺め。松本インターから松本市街地に向かい、線路の下を通って伊勢町通りに入った突き当たりにあるビルからは、JR線を走る電車、伊勢町の賑わいが見渡せます。ここにはどなたでも利用できるパブリックスペースが中央にあり、左右に飲食店のテラス席あり。夕暮れから夜にかけての美しい風景を写真に撮って、SNSにアップしている方、多数。自画自賛になりますが、松本



会員短信

昨年の返信ハガキなどから

本による統治とその後始末の仕方にある。

もう少し早く大陸の戦争を終わらせてくれたら、南北分断の悲劇もなく、拉致問題も起こらなかったと。韓国の観光ガイドの言葉

藤井 恒男 (61期) 松本市

今年の3月末で退職致しました。

習い事や家の仕事等でなかなか時間の空きがありません。

丸山 勝彦 (61期) 安曇野市

幹事の皆様 ご苦勞様です。久しぶりに出席したかった「編注・昨年の総会」のですが病氣「大腸ガン」手術をして静養中です。相変わらずサッカーと野球の追い掛けをしています。

中村 邦男 (70期) 飯田市

六〇才で定年退職し、第二の職場も退職し、週一ゴルフを楽しんでいます。

妻の両親の介護のため、飯田市に来ましたが、それも終わり、暇を見ては、旅行に出ています。

清水 あゆ子 (91期) 松本市

中学2年の長男の中間テストが11月末に迫っています。テスト範囲が出る前から親子で予想しながら、対策をしています。ですが、私の頃は、範囲が出てから勉強のスタートだったなあと。勉強への取組においては子どもに頭が上がりません。

林 庄平 (52期) 下諏訪町

9月の朝まだき、アラートで七十余年前の米空軍による本土空襲を思い出した。北朝鮮の核問題の遠因は日本

会員短信拡大版

(ハンドベルに挑戦、涼やかな音を日本橋で響かせる)

小林 忠彦さん(61期)率いる男性のハンドベルチーム「ジェントルマンクワイヤー」は8月25日、東京・日本橋公会堂で開かれた演奏会に出場しました。全国からのつわものそろいの中、日ごろの練習の成果を発揮して、涼やかな音色を響かせてきました。

上田関係のメンバーは、写真左の二人目から、大日方一成さん(75期)、金井則人さん(74期)、小林忠彦さん(61期)、久保田信二さん(61期)、下形仁是さん(67期)、吉村哲郎さん(66期)の6人です。メンバーの高校生や知人たちが応援に来てくれました。



ハンドベルといえば、クリスマスシーズン。12月22日(土)には、発表会を「松本市音文ホール(主ホール)」で行います。上田関係メンバーのほとんどは、4月に加入して、基礎練習をしながらの状態ですが、日本橋で参加20チームの演奏に刺激を受けて、「発表会まで猛練習をしようと張り切っています。大曲?にも挑戦中です」と小林さん。みんなで応援に行きましょう!

(写真:小林忠彦氏 61期よりご提供)
(取材記事:井上裕子 79期)

第25回支部総会・会場のご案内 : ホテルモンターニュ松本

《松本駅出口は、北アルプス側になります》



広告

ご紹介・勧誘ください

貴女・貴兄の周囲の上田高校卒業生の皆様を本会にご勧誘ください。また、カジュアルな集まりの幹事会・例会にもご参加ください。明日の本会のため、皆様のお力添えを!

若手歓迎!



広告主: 上田高等学校同窓会・中南信支部

イラスト: 長坂知佳 109期